

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【公開番号】特開2009-5267(P2009-5267A)
【公開日】平成21年1月8日(2009.1.8)
【年通号数】公開・登録公報2009-001
【出願番号】特願2007-166557(P2007-166557)
【国際特許分類】

H 0 4 B 1/40 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 1/40

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月27日(2009.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

デジタル通信方式又はアナログ通信方式による通信方式で電波を送受信する通信手段と、
通信指示命令の入力を行うための入力手段と、
前記デジタル通信方式およびアナログ通信方式のうちの何れか一方の通信方式を選択する選択手段と、
前記何れか一方の通信方式を基本通信動作モードとし、当該基本通信動作モード時に他方の通信方式で電波を受信したときに前記入力手段からの通信指示命令が入力された場合、
前記他方の通信方式に切り替える命令を前記選択手段に出力する制御手段と、を備え、
前記制御手段は、前記通信手段を介して電波の送受信を完了した時点に基づいて所定の時間をカウントし、当該所定の時間経過後に前記通信方式を前記基本通信動作モードに復帰させる命令を前記選択手段に出力することを特徴とする無線機。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記所定の時間経過時に前記通信手段を介して電波の送受信を行っている場合には、当該送受信を行っている通信方式を維持する命令を前記選択手段に出力し、当該送受信を完了した時点に基づいて新たに前記所定の時間をカウントする請求項 1 に記載の無線機。

【請求項 3】

デジタル通信方式およびアナログ通信方式の両方の通信機能を備え、デジタル通信方式およびアナログ通信方式のうちの何れか一方の通信方式で電波を送受信する通信手段と、
通信指示命令の入力を行うための入力手段と、
前記デジタル通信方式およびアナログ通信方式のうちの何れか一方を選択する選択手段と、

前記何れか一方の通信方式を基本通信動作モードとし、当該基本通信動作モード時に相手方から他方の通信方式で電波を受信したときに前記入力手段からの通信指示命令が入力された場合、前記一方の通信方式を一時的に前記他方の通信方式に切り替えて電波の送受信を行う命令を前記選択手段に出力する制御手段と、
を備えた無線機。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記通信手段を介して電波の送受信を完了した時点に基づいて所定の時間をカウントし、当該所定の時間経過後に前記通信方式を前記基本通信モードに復帰させる命令を前記選択手段に出力するよう動作するものである請求項 3 に記載の無線機。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記所定の時間経過時に前記通信手段を介して電波の送受信を行っている場合には、当該送受信を行っている通信方式を維持する命令を前記選択手段に出力し、当該送受信を完了した時点に基づいて新たに前記所定の時間をカウントするよう動作するものである請求項 4 に記載の無線機。

【請求項 6】

デジタル通信方式又はアナログ通信方式による通信方式で電波を送受信するステップと、

通信指示命令の入力を行うためのステップと、

前記デジタル通信方式およびアナログ通信方式のうちの何れか一方の通信方式を選択するステップと、

前記何れか一方の通信方式を基本通信動作モードとし、当該基本通信動作モード時に他方の通信方式で電波を受信したときに前記入力を行うステップにおいて通信指示命令が入力された場合、前記他方の通信方式に切り替える命令を前記選択するステップに出力するよう制御を行うステップと、を備え、

前記制御を行うステップは、前記送受信するステップを介して電波の送受信を完了した時点に基づいて所定の時間をカウントし、当該所定の時間経過後に前記通信方式を前記基本通信動作モードに復帰させる命令を前記選択するステップに出力することを特徴とする無線通信方法。

【請求項 7】

デジタル通信方式およびアナログ通信方式の両方の通信機能を備え、デジタル通信方式およびアナログ通信方式のうちの何れか一方の通信方式で電波を送受信するステップと、

通信指示命令の入力を行うためのステップと、

前記デジタル通信方式およびアナログ通信方式のうちの何れか一方を選択するステップと、

前記何れか一方の通信方式を基本通信動作モードとし、当該基本通信動作モード時に相手方から他方の通信方式で電波を受信したときに前記入力手段からの通信指示命令が入力された場合、前記一方の通信方式を一時的に前記他方の通信方式に切り替えて電波の送信を行う命令を前記選択するステップに与えるよう制御を行うステップと、

を含む無線通信方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】無線機及び無線通信方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、無線機及び無線通信方法に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項1に記載の発明によれば、

デジタル通信方式又はアナログ通信方式による通信方式で電波を送受信する通信手段と

、

通信指示命令の入力を行うための入力手段と、

前記デジタル通信方式およびアナログ通信方式のうちの何れか一方の通信方式を選択する選択手段と、

前記何れか一方の通信方式を基本通信動作モードとし、当該基本通信動作モード時に他方の通信方式で電波を受信したときに前記入力手段からの通信指示命令が入力された場合、前記他方の通信方式に切り替える命令を前記選択手段に出力する制御手段と、を備え、

前記制御手段は、前記通信手段を介して電波の送受信を完了した時点に基づいて所定の時間をカウントし、当該所定の時間経過後に前記通信方式を前記通信動作モードに復帰させる命令を前記選択手段に出力することを特徴とする無線機が提供される。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項2に記載の発明によれば、請求項1に記載の発明において、

前記制御手段は、前記所定の時間経過時に前記通信手段を介して電波の送受信を行っている場合には、当該送受信を行っている通信方式を維持する命令を前記選択手段に出力し、当該送受信を完了した時点に基づいて新たに前記所定の時間をカウントする無線機が提供される。

また、請求項3に記載の発明によれば、

デジタル通信方式およびアナログ通信方式の両方の通信機能を備え、デジタル通信方式およびアナログ通信方式のうちの何れか一方の通信方式で電波を送受信する通信手段と、通信指示命令の入力を行うための入力手段と、

前記デジタル通信方式およびアナログ通信方式のうちの何れか一方を選択する選択手段と、

前記何れか一方の通信方式を基本通信動作モードとし、当該基本通信動作モード時に相手方から他方の通信方式で電波を受信したときに前記入力手段からの通信指示命令が入力された場合、前記一方の通信方式を一時的に前記他方の通信方式に切り替えて電波の送受信を行う命令を前記選択手段に出力する制御手段と、

を備えた無線機が提供される。

また、請求項4に記載の発明によれば、請求項3に記載の発明において、

前記制御手段は、前記通信手段を介して電波の送受信を完了した時点に基づいて所定の時間をカウントし、当該所定の時間経過後に前記通信方式を前記基本通信モードに復帰させる命令を前記選択手段に出力するよう動作するものである無線機が提供される。

また、請求項5に記載の発明によれば、請求項4に記載の発明において、

前記制御手段は、前記所定の時間経過時に前記通信手段を介して電波の送受信を行っている場合には、当該送受信を行っている通信方式を維持する命令を前記選択手段に出力し、当該送受信を完了した時点に基づいて新たに前記所定の時間をカウントするよう動作するものである無線機が提供される。

また、請求項 6 に記載の発明によれば、

デジタル通信方式又はアナログ通信方式による通信方式で電波を送受信するステップと

、

通信指示命令の入力を行うためのステップと、

前記デジタル通信方式およびアナログ通信方式のうちの何れか一方の通信方式を選択するステップと、

前記何れか一方の通信方式を基本通信動作モードとし、当該基本通信動作モード時に他方の通信方式で電波を受信したときに前記入力を行うステップにおいて通信指示命令が入力された場合、前記他方の通信方式に切り替える命令を前記選択するステップに出力するよう制御を行うステップと、を備え、

前記制御を行うステップは、前記送受信するステップを介して電波の送受信を完了した時点を基準として所定の時間をカウントし、当該所定の時間経過後に前記通信方式を前記基本通信動作モードに復帰させる命令を前記選択するステップに出力することを特徴とする無線通信方法が提供される。

また、請求項 7 に記載の発明によれば、

デジタル通信方式およびアナログ通信方式の両方の通信機能を備え、デジタル通信方式およびアナログ通信方式のうちの何れか一方の通信方式で電波を送受信するステップと、

通信指示命令の入力を行うためのステップと、

前記デジタル通信方式およびアナログ通信方式のうちの何れか一方を選択するステップと、

前記何れか一方の通信方式を基本通信動作モードとし、当該基本通信動作モード時に相手方から他方の通信方式で電波を受信したときに前記入力手段からの通信指示命令が入力された場合、前記一方の通信方式を一時的に前記他方の通信方式に切り替えて電波の送信を行う命令を前記選択するステップに与えるよう制御を行うステップと、

を含む無線通信方法が提供される。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

制御部 2 は、タイマ制御部 21a がカウント中であるか否かを判断する（ステップ S₁₀）。ここで、タイマ制御部 21a がカウント中である場合とは、受信処理が完了してからまだ所定の時間を経過していないことを意味する。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

制御部 2 は、タイマ制御部 21a がカウント中でないと判断した場合（ステップ S₁₂：NO）、送信信号方式をデフォルト設定の基本通信動作モードに決定する（ステップ S₁₃）。その後、制御部 2 は決定した基本通信動作モードにより送信処理を行う（ステップ S₁₅）。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3】

